

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 4月 5日

事業所名

マザーズやしろ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動スペースを出来る限り広く使えるよう、備品等の配置を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			コンプライアンス委員会を設置し、法令遵守に則り運営している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			活動スペースは、段差が生まれにくい配置をしている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日朝礼終礼を行い、振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年3月にアンケート調査を実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者評価していないが、社内監査チームによる評価を3カ月に1度行っている。	第三者による外部評価を今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎週月曜日に全教室で会議を行い、その際必要な研修を実施している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			最低6ヶ月に1度以上保護者、児童との面談を行いその結果を基に放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			療育プログラム作成チームが作成したメソッドを取り入れている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			毎日様々な活動を取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇時には外出活動も行い、普段できないプログラムを取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			その日の療育活動によって、集団・個別のグループ分けを行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 4月 5日

事業所名

マザーズやしろ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼・終礼の実施午後から出勤所職員がいる場合は、サービス提供時間の開始前に打ち合わせを行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			主に終礼時に情報共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			利用があったの蘇飛に一人一人記録を作成している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			必ず6ヶ月に一度以上行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			送迎時に確認を行っている。	
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			児童発達支援管理責任者が移行支援会議等に出席している。	
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				前例はないが、必要に応じて参加していく。
	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				前例はないが、必要に応じて参加していく。
	25 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		・感染拡大防止に努めながら、今後の活動を検討していきます。
	26 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○		
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳アプリを通して情報を共有している。	
28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			2023/2/18にマザーズ内の他教室と合同で実施した。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 4月 5日

事業所名

マザーズやしろ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っている。	
	30 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時や連絡帳アプリ・電話・面談を通して実施している。	
	31 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			ウォークラリーやペアレントトレーニングを通して保護者同士の関わりを持てるようにしている。	
	32 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			意見箱を設置し、日ごろから保護者との会話を増やしていけるよう取り組んでいる。	
	33 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			マザーズ新聞・毎月の予定表・ブログを通して発信している。	
	34 個人情報に十分注意している	○			鍵付きのキャビネットに保管している。	
	35 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡帳アプリや面談等を通して相互理解を図っている。	
36 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○					
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時にマニュアル集を配布している。	
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			非常災害マニュアルを作成し、2カ月に1度行っている。	
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			権利擁護・虐待防止研修に参加し、メンタルヘルス研修を実施している。	
	40 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			研修を通して職員同士共通痛理解を深めている。	
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			おやつ保管場所にアレルギーについての情報を掲示している。	
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			全社で再発防止のため、共有を行っている。	